

令和2年度

町政執行方針 (要旨)



6月9日、第2回町議会定例会で町政執行方針を述べました。

はじめに
このたびの町長選挙では、町民皆さまの温かいご理解とご支援をいただき、引き続き町政を担わせていただくこととなりました。このことは、身に余る光栄であり、町民皆さまからいただいた、さまざまなお言葉と思いを真摯に受け

止め、与えられた重責を全うする覚悟です。

就任当初から一貫して「子どもたちの笑顔輝くまちづくり」「お互いの力で築くまちづくり」を基本理念に掲げ、今日のまちを築いてこられた多くの先人に感謝し、子や孫へ活力ある「ふるさと白糠」を引き継いでいくという強い信念のもと「新たなまちづくり」を推進してきました。

私は、今任期におきましても、本町が持つ豊かな自然と気候風土、恵まれた地域資源を利活用し、地域経済を支える第一次産業を再興し、振興していくことが何よりも重要なことと捉え、地域産業の活性化を図るとともに、安全・安心な暮らしのための基盤整備、総合的な施策による人口減少対策、さらには、将来に夢を持てるさまざまな取り組みを着実に成就させるべく、これまで培った経験や人的ネットワークを最大限にいかして、町政の運営に努めます。

本年度の町政執行の基本的な考え方について

「第8次白糠町総合計画」を踏まえ、重要視点として位置付けている「3つの柱」と「第2期白糠町創生総合戦略」とともに取り組みを進め「生き活きしらぬか笑顔輝くまちを目指して」をまちづくりのテーマとして、各種施策を推進します。

本年は、昭和25年の町制施行から70周年という節目の年です。先人の方々へ感謝の意を表し、さらなるまちの振興と発展を希求するとともに、功労物故者の方々を末永く讃えるための式典を執り行います。

そして今般、国民の生命と生活に深刻な打撃を与え、内外経済に戦後最大とも言えるべき危機を惹起させた「新型コロナウイルス感染症」は、最終的な感染拡大の収束が見通せず、この先も大変厳しい状況が続くと考えなければなりません。感染防止の対応を徹底すること、社会経済活動を動かし再生していくことの両立を最優先に、状況の変化に即応しつつ、町民皆さまの安心な暮らしと雇用・経済を守り抜くために必要な対策を躊躇なく速やかに講じます。



本年は町制施行70周年という記念すべき節目の年です。

本年度推進施策の概要について

1 機能的で魅力ある基盤づくり

町民の安全・安心と快適な生活を守り、住環境などの利便性を確保するためには、計画的な生活基盤の整備と施策の推進が必要です。国道274号標茶・上茶路間のうち、釧路市阿寒町布伏内から本町二股までの17.7kmは、全国の国道でも数少ない未開通区間となっています。全線開通により広域的な観光産業の振興、地域産業の活性化、災害時は主要な幹線道路を補完するルートとして期待され